

令和 年 月 日

休学願

九州大学大学院医学系学府長 殿

平成・令和 年度入学 専攻

分野 コース

学生番号

氏名 印

このたび、下記のとおり休学をしたいと存じますので、ご許可くださるようお願いいたします。

記

1. 理由 _____

2. 期間 自 令和 年 月 日
至 令和 年 月 日

指導教員 _____ 印

指導教員 _____ 印

<今後の連絡先>

住所：〒 _____

電話番号： _____

メールアドレス： _____ @ _____

授業料納入状況 [納入済 (前期分・後期分) 未納 (前期分・後期分)]

奨学金受給状況 [受給中 (_____ 奨学会) ・ 無]

副 申 書

令和 年 月 日

九州大学大学院医学系学府長 殿

平成・令和 年度入学
専攻

氏 名

指導教員 印

副 申 書 (参 考 文 面)

令和 年 月 日

九州大学大学院医学系学府長 殿

平成・令和 年度入学

専攻

氏 名

指導教官 印

(例 1)

上記の学生から、〇〇（疾病名等）の治療（療養）に専念したいので休学をしたい旨の申し出があり、健康科学センターの△△医師（カウンセラー等）と協議した結果、早期に治療（療養）することが今後の修学計画を円滑にするものと判断いたしました。

つきましては、願い出のとおり休学を許可くださいますよう副申いたします。

(例 2)

上記の学生から、出産（育児）のため休学したい旨の申し出があり、休学して出産（育児）に専念することが、今後の修学計画を円滑にするものと判断しました。

つきましては、願い出のとおり休学を許可くださいますよう副申いたします。

（休学を申し出た学生と面談した内容等により、休学に至る経緯、休学が最善の方法であると判断されたことを記載願います。）

（経済的理由での休学の場合、上記内容に加えて「休学中の学生に係る責任を負うことに同意する旨」を明記願います。なお、「責任」とは休学を最善の方法と判断したことに対する「責任」とします。）

留 意 事 項

1. 休学を願ひ出る場合は、事前に指導教員と相談し、指導教員の副申書を添付すること。
2. 指導教員に相談する際、疾病の場合は診断書、経済的理由の場合は学資支弁が困難になったことを客観的に判断できる申立書又は証明書等、特別の事情による場合はその理由となる詳細な理由書等を提出すること。
3. 経済的理由とは、家計支持者の病気及び死亡、家業の倒産、地震・風水害・火災等によって、学資支弁が困難な状況にあって、なおかつ奨学金の給付・貸与又は授業料免除等の就学支援が受けられない場合等をいう。
4. 特別の事情とは、海外語学研修、海外事情調査、研究、インターンシップ、ボランティア活動、家族の看護、介護、出産、育児及び就業（社会人学生の業務多忙等）等通学を継続することが困難な事情がある場合をいう。
5. 授業料の免除又は納入の状況については、提出時に申告すること。
6. 奨学金を受給している者は、奨学金の一時停止等の手続きを行うこと。
(日本学生支援機構を貸与中の方は手続きが必要ですので必ず申し出て下さい。)

提出書類の種類について

① 疾病の場合（学府長の許可）

休学願＋診断書等＋副申書＋返信用封筒（許可書返送用・定形封筒に８２円切手貼付）

- I) 診断書
- II) カウンセラー等の申立書

② 経済的理由の場合（学府長の許可）

休学願＋学資支弁が困難な客観的な申立書等＋副申書＋返信用封筒（許可書返送用・定形封筒に８２円切手貼付）

- I) 家計支持者の病気（診断書等）
- II) 家計支持者の死亡（死亡診断書等）
- III) 家計支持者の失職（退職証明書等）
- IV) 家業の倒産（破産宣告の受理書、廃業届）
- V) 地震・風水害（罹災証明書）
- VI) 火災（火災に関する証明書）

③ 特別な事情の場合（学府長の許可）

休学願＋理由書（下記記載のⅠ～Ⅴ）＋副申書
＋返信用封筒（許可書返送用・定形封筒に８２円切手貼付）

- I) 海外渡航
 - i) 語学研修（入学許可書）
 - ii) 海外事情調査・研究等（調査・研究計画書等）
- II) 長期のインターンシップ（受入証明書）
- III) 家族の看護（家族構成、看護に対する責任の度合い、診断書）
- IV) 出産、家族の育児
（母子手帳（表紙及び出産予定日が確認できるページ））
- V) 就業（職場復帰命令書、理由を記載した上司からの証明書等）